

防災マニュアル - 1

制定:2012(平成24)10.23、 改訂:2024(令和6)1.10

*新型コロナウイルス感染症及び地域高齢化対策に沿った防災マニュアルです

*いざという時にお互いが助け合うことができるように日頃の交流を大切に

1. 地震が起こる前に備えをしておく

1. 隣近所の助け合いが大切です。日頃の備えとして班会議を定期的におこないましょう。
2. 家族との連絡方法を決めておきましょう。伝言ダイヤル・メールの利用を考えましょう。
3. 食料・水等の備蓄品は7日分を準備しましょう。飲料水は一人一日3リットルが目安です。
4. 家具転倒防止は家具だけではなく、電気製品・ピアノ等の固定をしましょう。ガラス飛散防止対策も必要です。
5. ライフライン欠如に伴う備えをしましょう。別頁**防災マニュアル-2** 参照
電気・水道・ガス・電話・下水が欠如して使用できなくなります。
水道・下水が使えない時のトイレパックの用意をしましょう。
6. 防災訓練に参加しましょう。
7. 初期消火対策として、消火器の準備をしましょう。
8. 救命救急対策として、心肺蘇生とAED機器講習を受けましょう。AED機器の設置場所は管理事務所玄関です。
9. 新型コロナウイルス感染症対策（防災通信No.33 参照）を守り地震災害に対応しましょう。

2. 地震が起きた時の対処の仕方を知る

1. 「自分の身は自分で守る」が基本です。「その場に合った身の安全」です。
2. 初期の揺れが収まったら台所などの「火」を消しましょう。
3. 万が一火事になったら消火器やバケツ水などで火が小さいうちに消火することです。
4. 火事になったら非常ベルを押して（防災通信No.34 参照）地域の皆さんで協力して消火してください。もし天井に炎が届いたら、窓・ドアを閉め空気の供給を絶ち消防隊に消火活動を任せて住民の皆さんは避難してください。
5. 安否確認は「いっとき避難場所」でおこないますが、高齢者や病気などで「いっとき避難場所」へ行くのが困難な方は、班長さんに安否を連絡してください。
その連絡方法は玄関ドアに「安否」を表示するか窓から合図を送るなどの方法です。
6. あわてて外に飛び出さずに落下物・倒壊物・陥没箇所から身を守ってください。
7. ライフライン（電気・水道・ガス・電話・下水道）の欠如を確認してください。
欠如しているものがありましたら、別頁**防災マニュアル-2** を参照して対応しましょう。
8. エレベーターの中に居て閉じ込められたときは、閉じ込められ防止装置が作動して最寄りの階に止まりドアが開きますので慌てないで行動してください。
9. 発災時の行動は、班単位・棟単位が基本となります。

3. 地震が起きたあとの対応の仕方と行動

1. デマや風評に惑わされない正確な情報収集と適切な行動をしましょう。
2. 地震災害で怖いのは火災です。大地震発生時は消防車・救急車はすぐに来られない場合があります。隣近所の協力での消火は大きな力となります。
3. 横浜深谷台小学校地域防災拠点指定避難場所は自宅が火災になったり、倒壊などの危険で自宅で生活できなくなった人たちが一時的に生活するところです。
4. ドリームハイツの皆さんは「在宅避難」が基本となっています。
5. 要援護者及び支援者は事前に登録していただいています。
これらの皆さんの対応は多岐に亘りますので災害対策本部へご連絡ください。

ライフライン欠如対応 防災マニュアル-2

制定:2012(平成24)10.23、 改訂:2024(令和6)1.10

1.停電対応について

- ①エレベーターを使用中停電で止まった時には最寄りの階に止まりドアが開きます。
停電が解消されるまではエレベーターは使用できません。
- ②今まで使っていた電気器具のスイッチを切り、コンセントを抜いてください。
- ③避難する時はブレーカーを切断してください。通電時に電気器具の発熱による火災や、ガス管の緩みによるガス漏れ引火火災を防いでください。
- ④ラジオ・懐中電灯・ローソク・マッチ・予備電池等の準備をしてください。

2.水道断水対応について

- ①日頃から浴槽に水を張っておくようにします。いざという時は生活用水として使います。
- ②飲料水は最低7日分を準備しておきましょう（一人当たり一日3リットル）
- ③ハイツの防災井戸水は飲料以外の生活用水です。防災井戸は4箇所ありますので生活用水としてお使いください。但し、管理事務所前の一号井戸は浄水設備を備えていますので稼働している時は「飲料水」の供給が可能です。

3.ガス供給遮断対応について

- ①ガス器具の各元栓とメーターガス栓を（マイコンメーター）をしめてください。
- ②卓上コンロ・ガスボンベ等の器具を準備して熱源としてください。

4.電話不通対応について

- ①災害時は電話及び携帯電話の通話は困難となります。
- ②携帯電話メールは有効な情報連絡手段です。
- ③「災害用伝言サービス」などを利用して家族の安否を確認しましょう。
- ④一号井戸の発電機を用いてスマホ・携帯電話の充電サービスがおこなわれます。

5.汚水下水管の破断対応について

- ①トイレ・台所・洗面・風呂等は汚水排水系統の破損なしが確認されてから使用してください。

6.汚水排水管破損なしの確認方法

- ①汚水接続枡蓋を専用フックにて開けます。枡に水が流れてこなかったり、滞った流れの時は破断破損の可能性があるので、「トイレパック」を用いた生活になります。
確認せずに汚水を流すと一階のお宅が水浸しになりますので十分にご注意ください。
- ②防災訓練ではこの汚水排水管破断訓練は実施いたしません。

◎ いざというとき、助けあうことができるよう

日頃からの付き合いを大切にしましょう。

——県ハイツ災害対策連絡会議——